

# ハコモノしゃべり会議

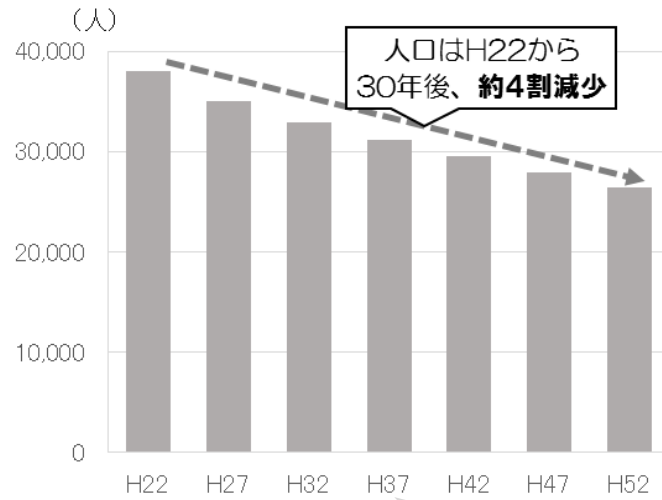
(大田市公共施設総合管理計画より)

公共施設（ハコモノ）の現況

このままでは……

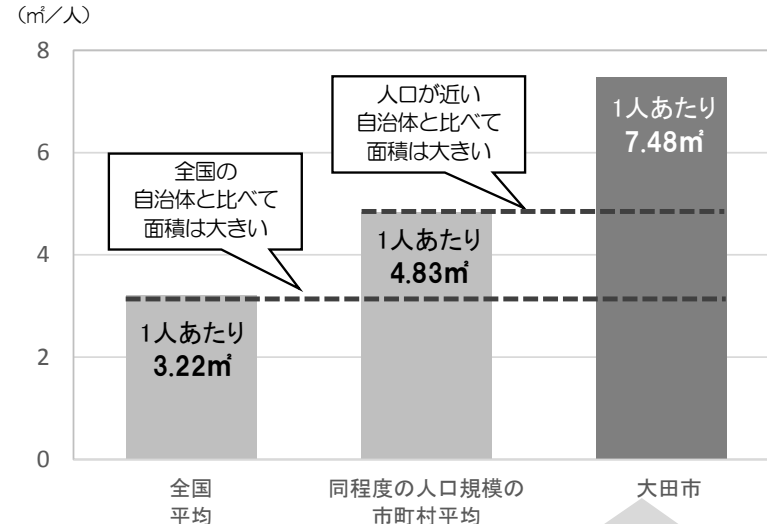
今後の取組

## ■ 大田市の人口は今後も減少していく！



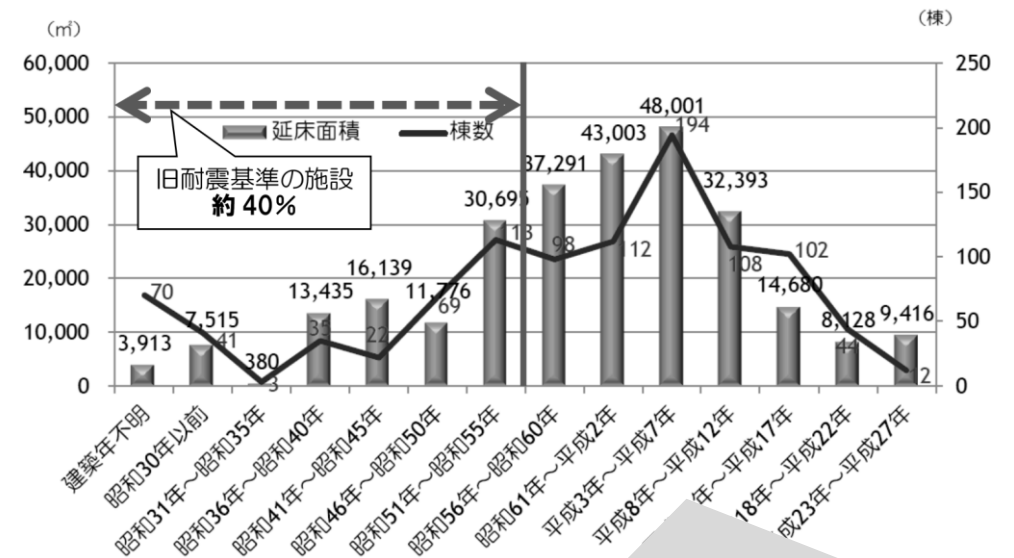
人口が減少することで税収も減少し、ハコモノの維持管理のための財源確保がより厳しくなる！

## ■ ハコモノの保有面積が大きい！



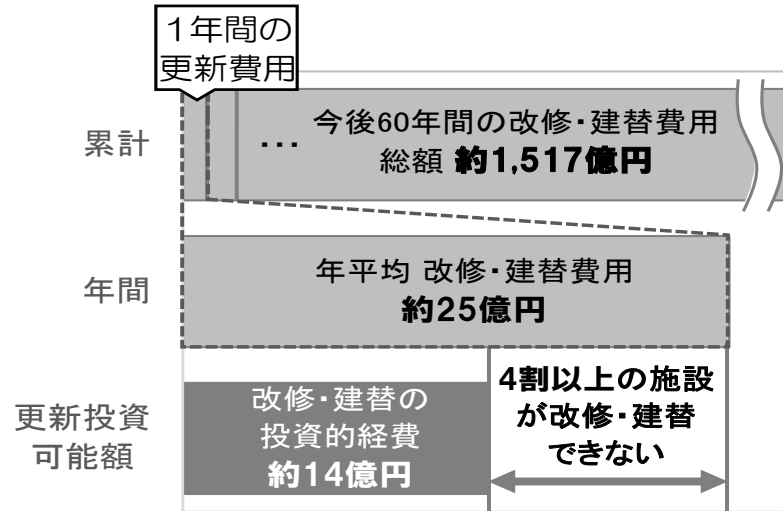
ハコモノを維持するための財政負担が大きい！

## ■ ハコモノの老朽化！今後、改修・建替時期を迎える！



同時期に耐震化の改修、建替時期を迎えるハコモノ等があり、財政負担が大きくなる！

## ■ 全てのハコモノを維持することは困難！



膨大なコストが必要となる見込み！使えるお金は増えそうにない！

課題・課題解決には

- ※昭和 55 年以前の建築物・・・旧耐震基準（今の耐震基準を満たさないものがある）
- ※更新時期が重複・・・高度経済成長期以降～バブル経済崩壊後の経済対策で多く建築
- ※複数ある類似施設・・・旧市町で整備し、所有していた建物のほとんどが新市に引き継がれ、見直しを図りながら管理してきた
- ※ニーズの多様化など・・・整備当初の目的が薄れ、利便性の低下など今後想定される
- ※財政の健全化・・・すべての施設を維持・更新する財源の確保が困難になる

### 課題解決へ

- ◆より良い、必要性の高い市民サービスを将来にわたって提供できるような検討
- ◆施設の安全性を向上させ、効率的・効果的な施設の更新や維持管理、再配置ができるような検討
- ◆次の世代への負担をなるべく課さないための公共施設のあり方についての検討 など

## 目標

市が保有する施設の総延床面積を平成 57 年度までに **30%以上削減**

### ■ 総資産量の適正化

施設の効率性や必要性を検討したうえで保有施設について廃止、複合化、集約化、用途変更をするなど、保有総量の縮減に取り組む

### ■ 長寿命化の推進

保有施設の長期的な修繕計画や、日々の点検強化などにより、施設を安全に長持ちさせるなど、ライフサイクルコストを削減する

### ■ 民間活力の導入

民間活力を活用した施設整備や維持管理により、公共施設サービスの機能維持・向上や、施設運営の効率化を図る